



明海大学

浦安キャンパス

同窓会会報

編集・発行／会報発行担当

会長挨拶



明海大学浦安キャンパス同窓会
会長 金子裕介

「人生において、交友の楽しみよりも貴重な快楽はない。」という言葉があります。明海大学同窓会は、同窓生にこの快楽を少しでも多く味わっていただく機会を提供する事を一番の目的としています。

私達は、これからも明海大学卒業という看板を、一生持ち続けて生きていくのです。母校明海大学の評価を高めていくのも、同窓会の役割の一つですが、最終的に母校の評価を決めるのは、私達同窓生なのであります。私達の行動、ないしは私達の社会的評価がそのまま、母校の評価に結び付けられるのであります。一人の美徳によって母校は栄えに輝き、一人の悪徳によって母校の評価は地に落ちるのであります。我が母校が年ごとに評価を高めていますのも、皆様の美徳のゆえにほかなりません。

さて、明海大学同窓会も発足以来4年がたち、各期の役員も揃い、準備段階も終わりに近づき、行動の時がやってまいりました。無数の人間がいるこの世の中で、お互い同じキャンパスで学んだり、遊んだり、時を過ごした明海大学同窓生は、切っても切れない、縁の糸で繋がっているのです。その皆様と共に同窓会を盛り上げ、愛され続ける同窓会を作っていきたいと思っております。

同窓会会報によせて

創立者・理事長 宮田慶三郎

海風の漂う浦安の地に、外国語学部、経済学部を設置し、はや7年が経過した。ここから三千二百余名もの有為な人材が旅立ってゆき、今社会の各分野で活躍している。そして来年の春には、いよいよ不動産学部の一期生がこの仲間入りをする事になる。

この度、この同窓生の手により同窓会会報が発行されると聞き、私は限らない喜びを感じている。卒業生は大学の顔であり、同窓会の発展は大学の発展の原点である。この同窓会会報を通じて、お互いの活躍を知ることにより、それぞれの励みとなり、それが同窓会の発展につながるであろう。同窓会の活動は、時には自己犠牲にしなければならぬこともあり、会の運営にも種々の困難があることと思う。しかし、これからの仲間入りする後輩のためにも、会員ひとりひとりが同窓会の発展を支えていかなければならない。

そして、これからも明海大学の発展を私と共に見守って欲しいと心から願っている次第である。



会報発行にあたって

副会長兼編集長 鮫島伸一

明海大学卒業生の皆様、はじめまして。

私は、今回の会報の編集長を務めさせていただきます。鮫島伸一と申します。まずは、この場をお借りしまして、同窓会役員として皆様へのご報告が遅れましたことを深くお詫言致します。初めての卒業生が社会に飛び立つてから早くも3年半の月日が流れ、皆様もそれぞれの分野で活躍されていることと思います。長い準備期間を経て、ようやく会報の第一号が完成いたしました。選りばせながら卒業生の方々に、同窓会の今までの活動内容をご報告すると共に、これからの同窓会のあり方、役割を確認していただきたいと思います。

同窓会の目的は卒業生の交友であり、会報はそのコミュニケーション手段の一つとして重要な役割を果たすと考えております。卒業生一人一人が、同窓会という媒体を一つの機会にして素晴らしい人生を送っていくこと、それが私の望みであります。

皆様にはこの会報発行を機に、同窓会活動に積極的に参加していただきたいと思っております。貴重なご意見を心よりお待ちしております。

①

明海大学浦安キャンパス 同窓会活動経過報告

明海大学浦安キャンパス同窓会は、平成4年3月23日第一期卒業生の謝恩会で同窓会会員の承認を受け、会長金子裕介氏を中心に活動してきました。

なお、会長は、明海大学浦安キャンパス同窓会の代表として準会員の卒業式、謝恩会に毎年参加し、新たに正会員となる方々を暖かく迎え入れています。

また、他大学同窓会との交流を通して本会の活動の充実をはかっています。同窓会では発足から現在までに以下の様な活動をしてきました。

本会正会員の方々は平成6年5月、平成6年10月の2回にわたり住所変更確認がきを発送しました。これに伴って会員データの管理を行うため、平成6年12月3日にコンピューターを購入しました。

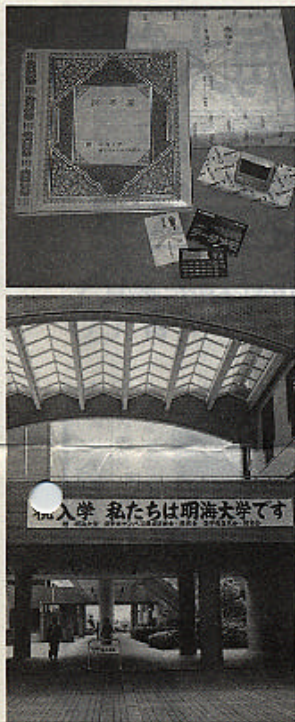
今回はがきを会報とともに同封しておりますので、住所変更された会員の方は変更事項を記入のうえ速やかに御返送ください。今後も定期的に住所変更の確認を行う予定ですので、御協力ください。

さいますようお願い致します。

本会準会員（在学生）への働きかけとしては、以下のものがあります。平成6年9月4・5・6日に留学生サマーセッション（留学生と日本人学生との交流旅行）に本会役員が参加し、海外支部設立への足掛かりを作りました。

また、平成6年12月25・27日には学友会各団体のリーダーズ研修会へ本会役員が参加し、在学生へ同窓会の存在をアピールしました。さらに平成7年2月12・15日にはスキー合宿を後援し、本会役員もインストラクターとして指導にあたり好評を得ました。以上のような活動を通じて準会員の皆様の同窓会への期待も高まりました。

本会では大学側との交流も活発に行っています。その結果平成7年3月には本学教育後援会と共同で卒業式・入学式用の横断幕を製作しました。さらに毎年3月には母校を巣立つてゆく後輩たちに準会員から正会員となる記念として以下のものを贈っています。



二期生「平成4年度」電子メモ
三期生「平成5年度」アルバム
四期生「平成6年度」アラーム付き時計
そしてこれらの記念品にはすべて明海大学浦安キャンパス同窓会の名をいれしました。

来年3月にはいよいよ不動産学部第一期生が卒業します。現在同窓会役員会では第五期生への記念品を検討しております。会員の皆様からの提案もお待ちしております。

本会では現在検討中の事業計画として来年度に同窓会発足5周年パーティーを予定しております。同窓会発足から5年、会員相互の交流を図りたいという思いからこの案が持ち上がりました。内容についてはのちほど御案内させていただきます。

また将来的な計画としては、同窓会会館の建設があります。他大学では同窓会



会館が建てられているところも多く、会員の交流の場として広く活用されているようですので、本会としてもぜひとも建設したいと考えています。

同窓会ではこれからもいろいろな企画を提示していきたいと思っております。よろしく御意見致します。そして同窓会会員の皆様の御意見も大切にしていきたいと思っております。提案などございましたら同封のがきにてお聞かせください。

同窓会 会員情報管理について

現在、明海大学浦安キャンパス卒業生は約三千人、来年4月には初の不動産学部卒業生も誕生し、会員数も約四千人にあります。その後も、毎年約千人ずつの卒業生が社会に出ていく訳です。この同窓生のコミュニケーションを可能にするため、同窓会には会員の現在の動向を把握する責任があり、また会員は自らの所在を同窓会に報告する必要があると考えます。そこで会員情報の管理を目的としてパソコンを導入し、さらに管理・運用を可能にする為、会員情報システムを同窓会内で開発しました。

- 三、システムにアクセスする（情報を利用する）には、パスワードが必要であり、個人情報管理責任者と事務局長がこれを知る。
- 四、運用方法については、明確な個人情報管理規定が定まるまでは、同窓会から会員への発信を目的とし、それ以外の目的による使用は一切認めないものとする。
- 五、会員管理システムの開発と個人情報管理責任者を副会長、鮫島伸一が担当し、運用責任者を事務局長、北原淳が担当する。

明海大学トピックス

建野雄之(第四期卒業生)君、「1994 日本学生選手権・三級陸上 16m30cm優勝」でユニバーシアード福岡大会に出場。予選を通過し決勝を記録15m88cmで12位と健闘しました。

課外活動面

- 陸上 1995 第74回関東学生陸上競技選手権大会 総合4位
- ヨット 1995 春季インカレ 決勝11位/全日本女子インカレ出場
- 男子テニス 1995 第5回全勝優勝 第4部昇格
- 男子バレー 1995 関東大学リーグ10部 全勝優勝 9部昇格
- ラケット 1995 関東リーグ7人制大会 コンストレーション 優勝
- サッカー 1995 千葉県大学選手権大会 大会最優秀選手賞 優勝/千葉県サッカー県代表 優勝 千葉県大学選手権大会 準優勝

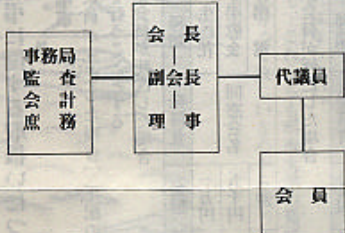
- ソフトボール 1992 1992 関東ESデベロップメント大会 優勝
- 吹奏楽 1995 1995 千葉県吹奏楽コンクール 銀賞
- トライアスロン 1994 1994 関東学生選手権大会 水泳競技大会・800mフリーリレー 6位
- 水泳 1994 1994 関東学生選手権大会 水泳競技大会・800mフリーリレー 6位
- 女子テニス 1994 1994 関東学生選手権大会 優勝
- 空手道 1994 1994 秋季浦安市民大会 優勝
- 情報処理 1995 オープンルーム運営管理

施設面等

- 1992 不動産学部(第一部・第二部)設置
- 1992 アメリカ合衆国カリフォルニア大学ロサンゼルス校留学部と文化学術交流協定締結
- 1993 講義棟サウスウイングを増築
- 1993 購買部サウスウイングにオープン
- 1993 Student Information Service(SIS)導入
- 1993 オープンカレッジ(マイカレッジ)を開設
- 1993 中華人民共和国北京外国語大学と姉妹校協定締結
- 1993 厚生施設「つま恋」契約
- 1994 セミスター制導入
- 1994 学友会主催 フレッシュマンウェルカムパーティー開催
- 1994 大東百合子学長就任
- 1994 学友会主催 第1回リリーダーズ研修会開催
- 1994 オープンルーム開放開始
- 1994 学友会主催 第2回リリーダーズ研修会開催
- 1994 学友会主催 第1回明海大学浦安キャンパススキップアーin岩原開催(同窓会後援)
- 1995 国際交流課設置
- 1995 トレーニングセンター設置
- 1995 レストラン「ニューマリナズ」オープン
- 1995 学友会主催 第3回リリーダーズ研修会開催



同窓会組織図



構成員

会長 金子裕介	理事長 沼野洋
副会長 鮫島伸一	理事 山口玲子
理事 期卒業 三期卒業	理事 青木実
理事 北原淳	理事 成田佳生
理事 重村浩史	理事 大久保秀樹
理事 村上猛	理事 山下英之
理事 池下龍一郎	理事 四期卒業
理事 小島信也	理事 巖原英紹
理事 飯野隆	事務局 北原淳
二期卒業	事務局 田島麻佐子
高山忠明	事務局 大塚三恵
春山和志	事務局 川島康子
古野隆	事務局 岡部靖
伊藤大興	事務局 杉浦実希
熊沢光一	



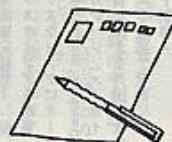
①管理・運用内容
一、大学から毎年卒業生のデータをいただく。(その際不必要な情報は削除する)
二、パソコン用にデータを変換し、同窓会事務局に設置してあるパソコン(写真)で管理・運用を行う。

②会員情報管理システム概要
一、使用機器
ハードウェア、ゲートウェイ2000・P500/ソフトウェア、マイクログソフト・アクセス(データベースソフト)
二、開発
開発期間、6ヵ月間(毎週土曜日)開発者、鮫島伸一
三、管理項目(○はデータあり ●はデータ無し)
○会員番号 ○本籍地 ○氏名 ○性別 ○生年月日 ○現住所 ○電話番号 ○高校コード ○同窓会役職名 ○父兄名 ○父兄住所 ○父兄電話番号 ○勤務先名 ○勤務先住所 ○勤務先電話番号 ○勤務先役職名 ○勤務先部署名 ○勤務先役職名
四、システム機能
入力 (1)会員情報新規登録
出力 (1)会員情報メンテナンス(変更)
出力 (1)タックシール出力
(2)宛名情報データフロッピー作成
※双方とも発行物の宛名として使用

同窓会からのお知らせ

卒業生の現住所が不明の為、今回の会報は皆様が在学中に大学に登録した備前先に送付させていただきます。また、同封物には以下のものがありますので、ご確認下さい。

- 会報
- 同窓会規約案
- 予算、決算書
- アンケートハガキ



※アンケートハガキについて
以下に挙げます事項にお答えの上、ハガキをポストに投函していただくようお願い申し上げます。

- 一、現住所、並びにお勧め先
- 二、同窓会、同窓会報の名称募集

同窓会会員の皆様には非素敵な愛称を付けていただきたいため、思いっくままお気軽にお書き下さい。



三、役員募集

現在同窓会では、役員募集を行っております。関心をお持ちの方は、その旨をお書き下さい。

四、5周年パーティーに関するアンケート

前出の同窓会活動報告でも触れました「明海大学浦安キャンパス同窓会発足5周年記念パーティー」を平成8年11月頃の予定で企画しております。会員の皆様におかれましては、様々な方面でご活躍の事と存じますが、日々の喧騒をしばし忘れて、恩師・会員との楽しいひとときをご提供できたらと考えております。企画内容に皆様の意見を参考にさせて頂きたいので、アンケートに是非お答え下さい。



五、その他のご意見

このアンケートハガキは、会員間のコミュニケーションを保つていく為に、とても大切なものです。「卒業生の為の卒業生による同窓会」を実現するためにも、お手数とは存じますが、何卒ご協力お願いいたします。

●慶弔に関する取扱いについて

一、弔事

会員が死亡した場合、下記の対応を行うこととする。

(1) 正会員が死亡した場合

種類	発信者	金額	数
生花	同窓会名	一万円	一対
弔電	同窓会名	五千円	一通

(2) 準会員が死亡した場合

種類	発信者	金額	数
弔電	同窓会名	三千円	一通

二、慶事
会員が結婚し、同窓会がこの連絡を受けた場合、同窓会名で祝電を打電することとする。

●慶弔報告

弔事

1992年7月 平井和秀教授 逝去
10月 準会員 鈴木尚之氏 逝去
1993年9月 準会員 佐藤孝氏 逝去
1994年6月 正会員 石黒登苗さん 逝去
1994年6月 正会員 伊藤博哲氏 逝去
1995年 正会員 渋谷芳知氏 逝去
心よりお悔やみ申し上げます。

慶事

1994年10月
同窓会会長 金子裕介氏 結婚
おめでとうございます。

編集後記

卒業生の皆さん、大変早くお待ちいたしました。いろいろありましたが、やっと会報を発行することができました。ご意見・ご感想等がありましたら、事務局宛にご連絡下さい。

また事務局では役員募集しております。関心をお持ちの方は事務局までご連絡下さい。

一期生から四期生まで卒業し、ようやく同窓会の活動も本格化してまいりました。この会報発行を皮切りに、卒業生と大学とを結びコミュニケーションソースとして活動していきたいと思っております。

皆さんのご協力、ご指導をお待ちしております。これからますますお楽しみ致します。
※問い合わせ先は、封筒に明記してあります。



STAFF

編集長/鮫島伸一
編集委員/畔上猛
大塚三恵
川島康子
田島麻佐子
伊藤大典
高山忠明
印刷協力/凸版印刷株